

2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月14日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績 (2023年11月1日～2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	583	8.8	6	—	6	—	3	—
2023年10月期第1四半期	536	0.9	△1	—	△3	—	△4	—

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 3百万円(—%) 2023年10月期第1四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	2.67	—
2023年10月期第1四半期	△3.78	—

(注) 2023年10月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載はしていません。

2024年10月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第1四半期	1,163	510	43.9
2023年10月期	1,250	507	40.6

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 510百万円 2023年10月期 507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	—	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,281	3.4	15	△58.6	15	△57.3	7	△65.3	6.13
通期	2,602	4.8	51	221.9	48	256.8	25	—	22.16

(注)1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)2 親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年10月期 1 Q	1,171,600株	2023年10月期	1,171,600株
2024年10月期 1 Q	242株	2023年10月期	242株
2024年10月期 1 Q	1,171,358株	2023年10月期 1 Q	1,136,558株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、インバウンド需要の復調や所得環境の改善により社会経済活動の正常化が進み、旅行やレジャー、各種イベントや外食等の消費行動に移ったことから、景気は緩やかな回復基調となりました。一方でウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めによる景気後退リスクの高まりや国際情勢の不安定化などから、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2023年11月から2024年1月までの、らん鉢取扱金額は1,030百万円（前年同期比6.4%減）、ファレノブシス類（胡蝶蘭鉢）の取扱金額は755百万円（前年同期比4.3%減）と、いずれも前年同期比減という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客に対する訪問営業活動等、販売促進に注力いたしました。ナーセリー支援事業は、既存顧客へのオリジナル園芸資材の販売促進と新規顧客開拓に注力いたしました。フューネラル事業は、新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進とコミュニケーション等情報交換に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は583,692千円（前年同期比8.8%増）、営業利益6,964千円（前年同期は営業損失1,377千円）、経常利益6,206千円（前年同期は経常損失3,715千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,126千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4,300千円）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力し、順調に進めることができました。また、オフィス環境の快適化に取り組む企業が増加していることから、植物やフェイクグリーンのおフィス緑化等のお問い合わせや相談件数も増えてきており、ご要望に応じた提案・対応などを積極的に進めることができました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は375,624千円（前年同期比7.2%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、新規顧客開拓と当社オリジナル園芸資材の販売強化に注力しました。引き続き園芸資材の原材料やエネルギー価格の高騰等によるコストの上昇が続くことから、各種販売単価の値上げ等について慎重に進めました。また、提携農園で栽培された胡蝶蘭を自社製品として内部利用する使用率を高めた一方で、卸売市場等へ直接販売する数量が減少したことにより、売上高は前年同期微減で推移いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は134,405千円（前年同期比2.0%減）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力しました。特に既存顧客をはじめ、葬儀業界関係各社とのコミュニケーションを大切にしながら、これまで積極的に情報交換に取り組んで参りましたが、ご紹介やその繋がりでの新たなお取引や企画の提案をする機会をいただけるなど、順調に進められたことから売上高は堅調に推移いたしました。

葬儀業界全体の環境としましては、大都市圏を中心に葬儀単価の減少傾向が続いておりますが、葬儀件数につきましては増加傾向にあります。しかしながら全国的に進む家族葬や密葬、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が続いており、今後も葬儀規模は縮小傾向で進んでいくと考えられますので、引き続き既存取引先や葬儀業界関係会社との情報交換を積極的に行いながら、柔軟な対応と新サービスの提供に取り組んでおります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は73,663千円（前年同期比51.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,163,186千円となり、前連結会計年度末と比べ87,036千円減少しました。

流動資産は998,059千円となり、前連結会計年度末と比べ83,018千円減少しました。その主な要因は、仕掛品が16,580千円増加した一方で、現金及び預金が51,759千円、受取手形及び売掛金が49,539千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は165,127千円となり、前連結会計年度末と比べ4,018千円減少しました。その主な要因は、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが2,471千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は652,551千円となり、前連結会計年度末と比べ90,392千円減少しました。

流動負債は382,196千円となり、前連結会計年度末と比べ46,901千円減少しました。その主な要因は、買掛金が13,193千円、1年内返済予定の長期借入金が7,807千円、賞与引当金が14,504千円がそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は270,355千円となり、前連結会計年度末と比べ43,490千円減少しました。その主な要因は、長期借入金が43,224千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は510,634千円となり、前連結会計年度末と比べ3,355千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,126千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、2023年12月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,305	558,545
受取手形及び売掛金	317,413	267,873
商品及び製品	38,542	37,084
仕掛品	111,285	127,865
原材料及び貯蔵品	321	321
その他	28,563	30,805
貸倒引当金	△25,352	△24,436
流動資産合計	1,081,078	998,059
固定資産		
有形固定資産	13,025	12,893
無形固定資産		
のれん	16,177	15,407
その他	37,394	34,467
無形固定資産合計	53,572	49,874
投資その他の資産		
その他	106,194	106,070
貸倒引当金	△3,647	△3,711
投資その他の資産合計	102,547	102,359
固定資産合計	169,145	165,127
資産合計	1,250,223	1,163,186
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,343	93,150
1年内返済予定の長期借入金	189,332	181,525
未払法人税等	5,123	2,733
賞与引当金	21,483	6,978
株主優待引当金	3,678	3,678
その他	103,136	94,130
流動負債合計	429,097	382,196
固定負債		
長期借入金	312,992	269,768
その他	854	587
固定負債合計	313,846	270,355
負債合計	742,944	652,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,012	143,012
資本剰余金	94,997	94,997
利益剰余金	268,338	271,465
自己株式	△465	△465
株主資本合計	505,883	509,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,396	1,624
その他の包括利益累計額合計	1,396	1,624
純資産合計	507,279	510,634
負債純資産合計	1,250,223	1,163,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	536,272	583,692
売上原価	306,141	330,701
売上総利益	230,131	252,991
販売費及び一般管理費	231,508	246,027
営業利益又は営業損失(△)	△1,377	6,964
営業外収益		
受取利息	56	55
受取配当金	5	5
受取助成金	303	—
為替差益	—	55
その他	177	183
営業外収益合計	543	299
営業外費用		
支払利息	938	1,057
為替差損	1,943	—
営業外費用合計	2,881	1,057
経常利益又は経常損失(△)	△3,715	6,206
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,715	6,206
法人税、住民税及び事業税	946	1,467
法人税等調整額	△361	1,612
法人税等合計	585	3,079
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,300	3,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,300	3,126

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,300	3,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	228
その他の包括利益合計	59	228
四半期包括利益	△4,240	3,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,240	3,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。